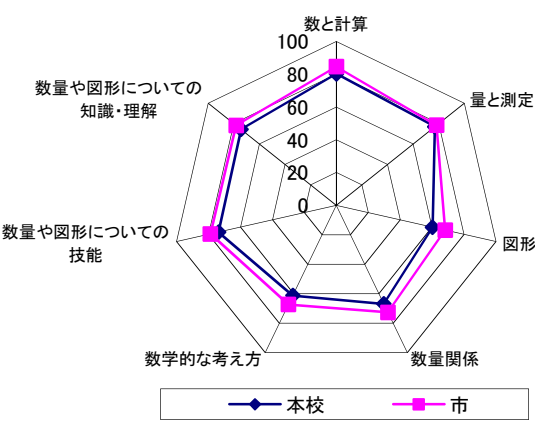


宇都宮市立御幸が原小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	80.2	84.6
	量と測定	76.9	78.3
	図形	60.3	68.2
	数量関係	66.8	72.6
観点別	数学的な考え方	61.2	67.3
	数量や図形についての技能	73.8	78.9
	数量や図形についての知識・理解	74.4	78.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	正答率は80%程度で、市の平均と比べると低い結果となっている。その中では、分数、小数、整数を含む乗除混合計算の正答率が特に低かった。	基本的な四則演算はほとんどの児童ができていますが、分数を含む計算、混合演算の計算で迷ってしまう児童が多い。普段から問題に取り組み、計算の方法に慣れ親しむようにしていきたい。
量と測定	正答率は市の平均と同程度であるが、77%程でやや低い結果となっている。速さの単位変換と角柱の体積を求める問題でつまずきが見られる。	時速、分速、Km、mの単位を変える問題で定着が低いことがわかる。速さ、時間、道のりの関係を重点的に定着できるよう指導することが求められる。
図形	正答率は60%程で低かった。円の半径から円周の長さを求める式を選択する問題の正答率が低かった。	円周や円の面積を求める問題では、直径と半径の使い分けができていない児童も多く、知識が不確かなところもあった。それぞれの言葉の意味を再確認していきたい。
数量関係	正答率は67%程度で定着率が低かった。比を用いて必要な量を求める問題、グラフから割合を求める問題の定着が低かった。	比についての定着度が低いことが分かる。同じ大きさの比を選ぶ問題や、比を使って答える文章題で迷ってしまう児童が多い。6年間の総復習の時間を活用して補修していきたい。